

原爆症認定集団訴訟 の解決を求める

1・31市民集会

いま、全国の被爆者が原爆症認定集団訴訟に立ち上がっているのは、なによりも原爆が引き起こした惨害を人々に知らせ、核兵器のない世界を実現したいからに他なりません。“市民集会”の成功は、政府・厚生労働省に裁判継続を断念させる圧倒的な国民世論を盛り上げる重要なステップとなります。核兵器廃絶と平和を願うすべてのみなさんに集会参加をよびかけます。

2007年1月31日(水)

18:30～20:30(開場 18:00)

日比谷公会堂

入場無料

東京都千代田区日比谷公園1-3 03-3591-6388
東京メトロ:丸の内線、日比谷線、千代田線「霞ヶ関」駅下車

主催 日本原水爆被害者団体協議会
原爆症認定集団訴訟弁護団全国連絡会
原爆症認定集団訴訟を支援する全国ネットワーク



[原告の陳述書より]

河合正江さん (東京地裁に提訴)

私の病気で心配をかけたおしだった夫も昨年突然先立ってしまいました。私は現在癌が進行し、正直言って裁判が終わるまで体が持つかどうか心配です。私が裁判をすることで、子どもや孫が差別を受けないか心配です。それでも、私が裁判に加わり、今回証言をする決意をしたのは、私の苦しみが原爆と関係無いというのはどうしても納得できないし、私たちが体験したことを法廷で証言して、国の姿勢をあらためてもらわなければ、行方不明のままの妹もうかばれないと思うからです。

関口智恵子さん (東京地裁に提訴)

私たちが原爆に遭ったのはまぎれもない事実です。原爆は私の家族を全て奪い、現在でも私自身の体をむしばみ私を苦しめ続けています。このような私の悲しみを理解してください。そして、国はきちんと責任を認めて補償してください。お願いします。

【問合せ先】 原水爆禁止日本協議会 東京都文京区湯島2-4-4 03-5842-6031
日本原水協は「原爆症認定集団訴訟を支援する全国ネットワーク」の参加団体です。